



# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2009～2010年度 RI のテーマ

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

会長 大作 茂 幹事 篠原達幸

### 第2001回例会 (2009年10月27日)

点鐘 大作会長

ロータリーソング 「手に手つないで」

### お客様紹介

地区財団増進・ポリオ委員会 鈴木 隆様

〃 橋本成喜様

〃 早船雅文様

東京江戸川中央RC 三浦昭一様

会長挨拶 大作会長



先週は、2,000  
回記念例会を無  
事に終了するこ  
とが出来ました。  
ご協力有難うご  
ざいます。お忙

しい処、大塚ガバナー、吉田、岩渕両パストガバナーにご臨席をいただき、お蔭様で大変盛大に出来ました。改めて御礼申し上げます。

また、本日はロータリー財団の卓話ということで、岩槻RCの鈴木様、岩槻中央RCの橋本様においでいただいておりますので、後程よろしく願いいたします。ここの処、当クラブにメーキャップの方がお見えにならないのですが、本日は東京江戸川ロータリークラブの三浦様がお見えになっております。久々のお客様です。当クラブとしても今日からは、3,000回例会を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、幸先の良い本日であります。

### 幹事報告

篠原幹事

- ① G S Eフェアウエルパーティーのご案内  
日 時 平成21年12月4日(金)午後6:00  
場 所 フラールガーデン春日部  
「ゲストハウス」
- ② 2009～2010年度ライラ研修セミナー募集中  
研修期日 2010年3月20日～22日  
研修地 北海道 知床を含めた東部地域  
参加費用 研修生 70,000円  
ロータリアン(家族) 75,000円
- ③ 「友」インターネット速報 No. 402が届いております。
- ④ 2009年11月のロータリーレートは1ドル＝90円との連絡がきております。
- ⑤ 「ハイライトよねやま」がきております。

### 委員会報告

#### 社会奉仕委員会

渡辺孝会員



11月3日に行われます杉戸町産業祭に当クラブもバザーで参加します。つきましては品物

を集めさせて頂きましたが、昨年と比べると少ないようなので、もし何かありましたらよろしく願いします。また、バザーの品物の値札付けを30日(金)の午後3時より、田中会員の事務所で行いますので、奥様方のご協力をお願いいたします。

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場：埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360



## 《ロータリー財団について》

本日はロータリー財団について基本的なことをお話したいと思いますので、よろしくお願いたします。

### (1) ロータリー財団の使命

- ① ロータリー財団は1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC・クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良きことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会で「ロータリー財団」と名づけられました。
- ② 2007年規定審議会で、ロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が提出され、採択されました。

**使命**：ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

**標語**：「世界で良いことをしよう」

**優先事項**：

- ・すべてのプログラムと運営を簡素化すること
- ・プログラムの成果も内容も、未来の夢計画に沿ったものであること
- ・地区レベル、クラブレベルにおいて、ロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること
- ・プログラムの目標達成の為に十分な資金と人材を提供すること
- ・未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること

### (2) ロータリー財団のプログラム

- ① 教育的プログラム

- ・国際親善奨学金プログラム
- ・国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラム
- ・研究グループ交換プログラム

#### ② 人道的補助金プログラム

- ・地区補助金
- ・マッチング・グラント

#### ③ ポリオ・プラス・プログラム

- ・ポリオ・プラスは使途指定寄付の一つで、ポリオ・プラスと指定して寄付します。ポリオ・プラス寄付はプールしておき、ポリオ・プラス補助金の申請があった時に使用します。
- ・ポリオ・プラス・パートナーはワクチン以外の使途に対する寄付で、ポリオ・プラス寄付とは異なり、基金としてプールせずに直ぐに使用します。

### (3) 第2770地区のロータリー財団委員会について

- ① 財団増進・ポリオ委員会
- ② 財団奨学学友委員会
- ③ 研究グループ交換委員会
- ④ 世界平和フェロシップ委員会
- ⑤ 地区補助金委員会

### (4) 財団増進・ポリオ委員会

- ・2009～2010年度の年次寄付目標額

クラブ会員1人当たり	200ドル
ポリオプラス	50ドル
	計250ドル

- ・ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のために、新たな補助金として2億5,500万ドルの拠出が表明されました。従って、2007年11月の1億ドルと合わせて、3億5,500万ドルの補助金になります。ロータリーもこれに答えて、従来の1億ドルに、更に1億ドルを上乗せして寄付を募ることになりました。これら2回の補助金およびロータリーによる寄付により、ポリオ撲滅に総額5億5,500万ドルが投入されることになりました。これからロータリーは「ロータリーの2億ドルチャレンジ」と銘打って、寄付をお願いすることになります。

- ・恒久基金の目標は

1 クラブ当たり ベネファクター1名  
会員 50 名以上のクラブ 〃 2名  
ベネファクターの寄付額は 1,000 ドルで、運用収益の 50%が 3 年後に D D F として地区に戻ります。

#### ・ロータリーカードの推進について

カードにはゴールドカードとスタンダードカードの 2 種類があります。ゴールドカードは年会費が 10,500 円掛かりますが、スタンダードカードは無料です。カードで 10,000 円の買物をしますと、0.3% (30 円) が財団へ寄付されます。



#### (5) 財団奨学学友委員会

財団奨学学友委員会は派遣国際親善奨学生、受入国際親善奨学生、ロータリー財団学友の 3 つの部門を担当しております。

##### 派遣国際親善奨学生について

- ・2009～2010 年度は 11 名 (内冠名奨学基金 5 名) の国際親善奨学生が、留学に向け準備を進めております。
- ・2010～2011 年度の派遣国際親善奨学生は 4 名で、現在オリエンテーションを実施しております。奨学生には米貨 25,000 ドルが一律に支給されます。

##### 受入国際親善奨学生について

- ・2009～2010 年度は、ベトナムから 1 名の女子学生を受入れ、現在、文教大学で学んでおります。
- ・2010～2011 年度は、ロシアから 1 名の受入れが確定しております。

##### ロータリー財団学友について

- ・派権国際親善奨学生・研究グループ交換は派遣生 (G S E) が留学・研究を終え帰国しますとロータリー財団学友になります。
- ・第 2770 地区ロータリー財団学友は、これから

留学する奨学生を含め 315 名おります。

- ・岩渕年度に「学友を中心とした新クラブの結成」を進め、会合を重ねてきましたが、20 名の会員が集まらず設立することが出来ませんでした。岩渕直前ガバナーには申し訳なく思っております。

#### (6) 研究グループ交換委員会

- ・2009～2010 年度の研究グループ交換は第 1180 地区、イギリスのリバプール地区と決定しております。
- ・受入れは今年 11 月の地区大会に合わせて行い、第 1～6 グループにホストをお願いすることになっております。
- ・派遣は 2010 年 5 月～6 月にかけて実施することで合意ができております。
- ・派遣生の募集については、7 月 1 日～31 日まで行い、選考試験は 9 月 13 日を予定しております。

#### (7) 世界フェロシップ委員会

- ・2002 年にロータリー・センターが設立され、世界で 7 地区 8 大学がロータリー・センターに指定され、日本では国際基督教大学 (I C U) が選ばれております。フェロの留学期間は 2 年で、奨学金は 50,000 ドルが支給されます。現在までに世界で 1 期生から 6 期生まで 340 人が卒業しております。
- ・第 2770 地区の現在の受入・派遣は
  - \* 第 7 期生受入 Meruvia Postor (メルビア・パストル) メキシコからの留学で、ホストは草加 R C です。
  - \* 第 8 期生派遣 現在タイの「国境なき医師団」で活躍されている三浦曜子さんが選ばれ、ブラッドフォード大学に合格しております。
  - \* 第 8 期生受入 Nicole Clark (ニコール・クラーク) アメリカからの留学で、ホストはさいたま新都心 R C です。

#### (8) 地区補助金委員会

- ・岩渕年度の地区補助金は 53,295 ドルで、3 年前 (森田年度) の年次寄付が 1 人当たり 200 ドルを超えている 39 クラブの内 20 クラブに 1,500 ドル、その他の 20 クラブに 1,150 ドルが、何れも申し込み順に支給を進めてきまし

た。結果的には、途中で支給基準の変更があり、支給クラブは36クラブでした。

- ・大塚年度においては、58,000ドルの地区補助金を予定しております。3年前（飯野年度）の年次寄付が200ドルを超えているクラブの内23クラブに1,500ドル、その他の20クラブに1,160ドルを承認順に支給を進めてまいります。

1,500ドル x 23クラブ = 34,500ドル

1,160ドル x 20クラブ = 23,200ドル

43クラブ 57,700ドル

(会計監査謝礼他) 300ドル

- ・2007～2008年度までは、文化的活動資金についても地区補助金を使うことが出来ましたが、2008～2009年度から使うことが出来なくなりました。地区補助金は人道性が高く、地域のニーズに応えるものであること、恵まれない人々への支援が必須条件になっております。

### (8) 未来の夢計画に基づく新補助金

- ・2008年6月のR I理事会で、ロータリー財団のミリアの夢計画が承認されました。この計画の実施は、パイロット地区については2010年7月1日から、その他の地区については、2013年7月1日から全世界一斉に実施されます。第2770地区は、世界で100地区のパイロット地区に選ばれております。

- ・補助金の構成については、大きく分けて2種類になります。

① 新地区補助金

② グローバル補助金

- ・新地区補助金はDDFの最大で50%まで使用することが出来、残りのDDFはグローバル補助金として使用されます。

WF 50%

DDF 50%→地区補助金

→グローバル補助金→クラブ&地区補助金

→パッケージ  
グラント

- ・グローバル補助金の使用については、6つを重点分野に定められております。

\* 平和と紛争予防・紛争解決

\* 疾病予防と治療

\* 母子の健康

\* 基礎教育と識字率向上

\* 経済と地域社会の発展

以上で卓話を終らせていただきます。

### ご挨拶

三浦昭一様



東京江戸川中央ロータリークラブの三浦でございます。仕事の関係でこちらにきました

のでメーキャップをさせて頂きました。私のクラブは杉戸クラブよりちょっと後に出来ましたので、まだ40周年にはなりません。こちらのクラブは来年は40周年を迎えるとのこと、頑張ってください。

### 出席報告

黒岩会員

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
10/27	25	14	11	8	88%

### スマイル報告

黒岩会員

橋本様→いつも大変お世話になります。本日はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

鈴木隆様→本日は卓話をさせて頂きます。よろしく願い致します。

早船雅文様→本日はおじゃまします。

大作会長→本日は卓話を有難うございます。

関口会員→欠席します。財団地区委員の方々、ご苦労様です。

下津谷会員→2,000回記念例会、盛会裡に終了。おめでとうございます。

仁部会員→杉戸町戦没者追悼式に参列して参りました。大東亜戦争と戦後について少し勉強していただきましたので、心新たにしました。

鈴木会員→台風一過、素晴らしい青空です。お客様ようこそお出で下さいました。

篠原幹事→お客様ようこそ！橋本様、鈴木様卓話ありがとうございます。

以下同文→中村会員、舟越会員、田中会員、渡辺孝会員、渡辺良一会員、黒岩会員、遠藤会員、小川会員

本日投入額21,000円累計額321,500